

## 「元八尾南高校跡地の防災公園整備計画(案)」に対する市民意見提出制度(パブリックコメント)の実施結果と市の考え方について

現在、元八尾南高校跡地の防災公園整備計画を策定するにあたり、「八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例」第12条の規定に基づき、検討途中の素案を公表し、市民意見提出制度(パブリックコメント)を実施しましたので、その結果と提出された市民意見に対する市の考え方を公表します。

提出いただいたご意見等は、趣旨を損なわないように一部要約するとともに、同じ内容の趣旨の意見については、まとめて回答しています。また、今回提出いただいた意見のうち、今後の活用検討にかかる意見につきましても、現時点での市の考え方を公表します。

(1) 意見募集期間 平成21年3月25日(水)～平成21年4月15日(水)

(2) 提出方法別の提出人数と意見の件数

提出方法	提出人数(人)	意見件数(件)
電子メール	1	6
直接持参	1	2
郵便	0	0
F A X	1	7
合計	3	15

(3) 意見の概要と市の考え方  
(構想(案)の対象となる意見)

	該当ページ及び項目	市民意見の主な内容	市の考え方
1	2ページ ■南木の本第2公園整備計画図	災害時の避難所としての機能を持ち、普段は市民の憩いの場なる防災公園を整備されるならば、絶対欠くことのできないライフラインの確保の一つとして、水の確保があげられると思います。震災で道路が遮断されると水の運搬にもたちまち困ると思いますので、災害時の水の確保のためにぜひ井戸を数箇所掘っていただきたいと思います。井戸水は普段の公園清掃や夏場の水遣りなどにも利用できると思います。	本計画における、災害時の水の確保につきましては、耐震性貯水槽(100t)を整備することで対応することとしております。この施設を整備することにより、災害後3日間に必要とされる飲料水を約1.1万人分確保できるものとなります。
2	3ページ ■(仮称)防災コミュニティセンター整備計画図	和室会議室を茶道が出来る様にして欲しい。	和室会議室については、多目的な利用を考えており、特定の機能を付加する予定はありませんので、ご理解ください。
3		コミュニティサロンで喫茶サービスは出来ないか。	コミュニティサロンについては、喫茶サービスの提供は考えておりませんが、機能としては自動販売機を設置することにより代替していく予定ですので、ご理解ください。
4		元八尾南高校跡地防災計画に常設防災模擬体験訓練所を設け全市民が利用できる価値ある施設にして欲しい。消火器の使い方や、震度7を体感したり、各家庭に常備して置くものの展示などや、どんな支援があるのか等、八尾防災シミュレーションビデオなどで紹介し啓蒙するような施設を。また、八尾27万市民が順番に年に一度は各居住地区自治振の行事として皆で避難路を確認しながら、当該模擬防災体験訓練所にて、体験、備蓄食料の入れ替えのため当日の昼食(市民が実費負担)としてなどは如何でしょうか。防災は言うまでもなく、普段の備えが大切です。物資だけでなく、大災害時の公民の連携と絆が大切です。年に一度はこの体験実習を八尾市民の義務と課してでも、各人に取り組んで頂ける様な施設を望みます。大きな価値になると思います。	ご指摘の「防災は普段の備えが大切です。物資だけでなく、大災害時の公民の連携と絆が大切。」という考え方は防災を考える上で重要なものであると認識しております。市では、防災訓練の実施や、自主防災組織の設立や運営などの支援を行っているほか、安全安心なまちづくり活動への支援も行っております。引き続き、市民の皆様の防災意識の高揚と防災体験訓練等について、積極的に取り組んでまいります。

(今後の活用検討にかかる意見)

	該当ページ及び項目	市民意見の主な内容	市の考え方
5	1ページ ■整備に向けた取り組みの概要について	出来れば1年でも早くオープンして欲しい。	整備の完了時期については、公園は平成24年4月を、体育館は24年度末を予定しており、各施設とも出来る限り早期で供用を開始したいと考えております。
6	2ページ ■南木の本第2公園整備計画図	多目的(芝生)広場に子供用サッカーゴールを用意して欲しい。	多目的広場の運用について現在検討中ではありますが、いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
7	3ページ ■(仮称)防災コミュニティセンター整備計画図	アリーナに少年用のフットサル用ゴールを用意して欲しい。	スポーツ関連の備品等につきましては、現在検討中ではありますが、いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
8	その他の意見	八尾南高校跡地に入る道路を整備して、スムーズに入れるように考えて欲しい。	本計画につきましては、八尾南高校跡地を整備範囲としております。また、周辺道路からのアクセスにつきましては市民ワークショップの中でもご意見をいただいております。課題と認識しております。いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
9		指定管理者で運営して下さい。	施設の管理運営につきましては、現在検討中ではありますが、いただきましたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
10		施設の休日を他の施設は月曜日が多いので水曜日にして欲しい。	
11		この整備計画に留まらず避難所としている各公園に井戸を掘っていただければと思います。	避難所に位置づけている公園への井戸設置につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。

	該当ページ及び項目	市民意見の主な内容	市の考え方
12		八尾市防災基本計画が明確に市民に徹底されていない中、「防災公園」と言われても違和感があります。一旦緩急あれば、市内公共施設はすべからく避難民救助に役立てるべく開放するのは当然です。その整備のため基幹モデルとして、折角八尾南高校跡地を買収し南木の第二公園整備計画の一部に組み入れたいのであれば分かります。『防災モデルとして南木の第二公園に整備すべき防災施設』として頂きたい。	八尾南高校跡地は、一時避難地に指定されているとともに、この場所以外に周辺地域に一時避難地の確保が困難な状況にあります。防災上の観点から、まず、一時避難地の確保を優先し、災害に強いまちづくり、防災の観点から八尾南高校跡地を防災公園とすることとしたものであります。
13		元八尾南高校跡地を防災公園とすることは、府道、国道25号線に囲まれた市民病院跡地の広大な市有地を売却してまで、また、八尾空港西側跡地9ヘクタール(含大阪市分)の問題もあるなか、当市の将来設計に基だ疑問があります。	
14		財政難の折ですが、市立病院跡地の売却と元八尾南高買収は防災公園の美名のもとの土地転がしとしか思えません。ハッキリと「南木の第二公園」とすべきです。八尾南高校跡は八尾全市民の利用には地理的にアクセスに無理もあり、やや適格性を欠いています。整備しつつ将来的目標に、八尾空港は大阪府中部広域防災拠点で府の空港を活用した近畿圏の広域防災基地整備計画に八尾市の防災センターとしてこれを共同活用しながら空港西跡地へ模擬訓練所の移設を視野に防災公園を計画する。	
15		普通、防災のためには道路の拡幅は常套手段である。しかるに当該地東側の府道大阪八尾線に水路と民家で遮られ、接するところ極わずか、住宅密集地帯でその幅員も狭小で災害時通行すら懸念されます。府道大阪柏原線八尾富田林線はあくまで計画道路の話である。早期実現への努力が喫緊の課題です。	府道整備につきましては、早期整備に向け引き続き大阪府に要望等を行ってまいります。